

## 千葉県内の円筒分水（４）

佐藤 寛\*

### 1 はじめに

千葉県の円筒分水を以前「千葉県内の円筒分水」<sup>1)</sup>「千葉県内の円筒分水（２）」<sup>2)</sup>「千葉県内の円筒分水（３）」<sup>3)</sup>を紹介した。今回は安房中央土地改良区の「嵯峨志分水工」と「滝の谷（やつ）分水工」を紹介する。

両円筒分水工は、安房中央土地改良区（千葉県館山市亀ヶ原 625-1）が管理する円筒分水で、千葉県内においては最も南に位置する円筒分水工である。当土地改良区から車で 30 分程走ると、南国にふさわしいほどの森林が生茂り山間の山道を行くと道端に金網で囲まれた「嵯峨志分水工」がある。

また、「滝の谷（やつ）分水工」は山間の道を車で行き、車から降り山林の中の小道を徒歩で約 100 メートル降りると分水工が金網で囲われ、傍には南国の光を十分に受けた緑豊かな水田の光景が目に入る。

### 2 安房中央土地改良区概要

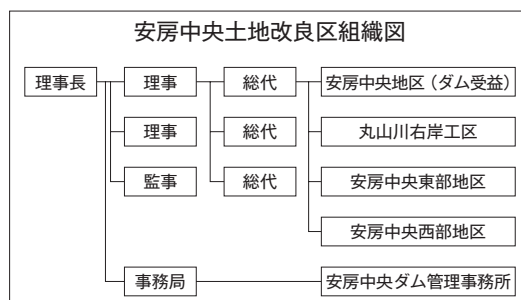
南房総の南端に位置し、東南に太平洋、南西に東京湾を望む温暖な気候に恵まれた地である。しかし、河川や小河川の流域面積が少なく十分な水量を確保できず、農家は古くから水不足に悩まされた地域である。このよう

な状況下において、地域関係者が一丸となって、安房中央用水改良事業としての県営かんがい排水事業申請を機に昭和 33 年 5 月 30 日に安房中央土地改良区が設立された。安房中央ダム建設や基幹用水路などの事業に着手し用水改良事業に尽力した<sup>4)</sup>。

#### 組織の概要

組合員数 2,212 名、総代 51 名、理事 11 名、監事 2 名（事務局 8 名）

図 1



#### 地区面積及び組合員数

表 1

関係市町村名	受益面積 ha	比率 %	組合員数
館山市	704.9	65	1,387
南房総市	371.8	35	825
計	1,076.7	100	2,212

※図工表は <http://awatoti.sakura.ne.jp/gaiyou.html> より転記、アクセス 令和元年 9 月 30 日

\* 中央学院大学社会システム研究所・所長、現代教養学部長

### 3 安房中央ダム（丸山湖）

千葉県房総半島に位置する館山市と南房総市に跨る風光明媚で温暖な気候に恵まれた地の水田総面積 987 ヘクタールを潤す県営かんがい排水事業として、安房中央ダムは南房総市に丸山川を水源として昭和 33 年に着工し昭和 45 年に完成し、基幹用水路は昭和 54 年に完成した。当地は昔から水不足に悩まされ小規模なため池や小河川を利用するなど絶えず水不足に悩まされた地でもある。江戸時代には藩財政の困窮により苛政のため、藩の安定的な財政のために滝川用水を完遂し農産物の増産と治水利水の使命を背負う等、歴史的な経緯のある地である<sup>5)</sup>。

#### ダムの概要<sup>6)</sup>

水	源	2 級河川丸山川 南房総市川谷地先
ダム諸元	集水面積	1,487ha
	総貯水量	2,113,000m <sup>3</sup>
	有効貯水量	2,096,000m <sup>3</sup>
堤体の形式	排水砂利層を河床に配した均一性アースダム	
堤	高	36m
堤	長	110.0m
内	法	3.0 割
外	法	2.5 割
堤	頂 巾	5.50m
余	裕 高	4.00m
堤	低 巾	188.5m

※ダムの概要は『安房中央土地改良設立 50 周年記念誌—安房中央のあゆみ』31 頁から転記。

(1) 嵯峨志分水工



写真 1

撮影: 筆者 2018 年 8 月 1 日



写真 2

撮影: 筆者 2018 年 8 月 1 日

## (2) 滝の谷 (やつ) 分水工



写真 3

撮影: 筆者 2018年8月1日



写真 4

撮影: 筆者 2018年8月1日

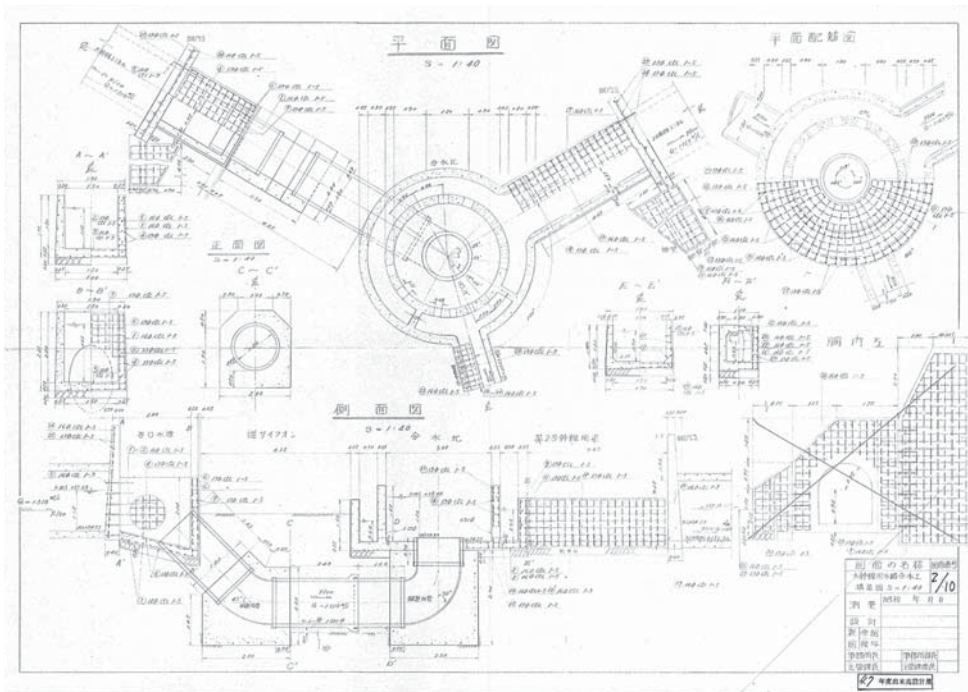


図2 嵯峨志分水工図

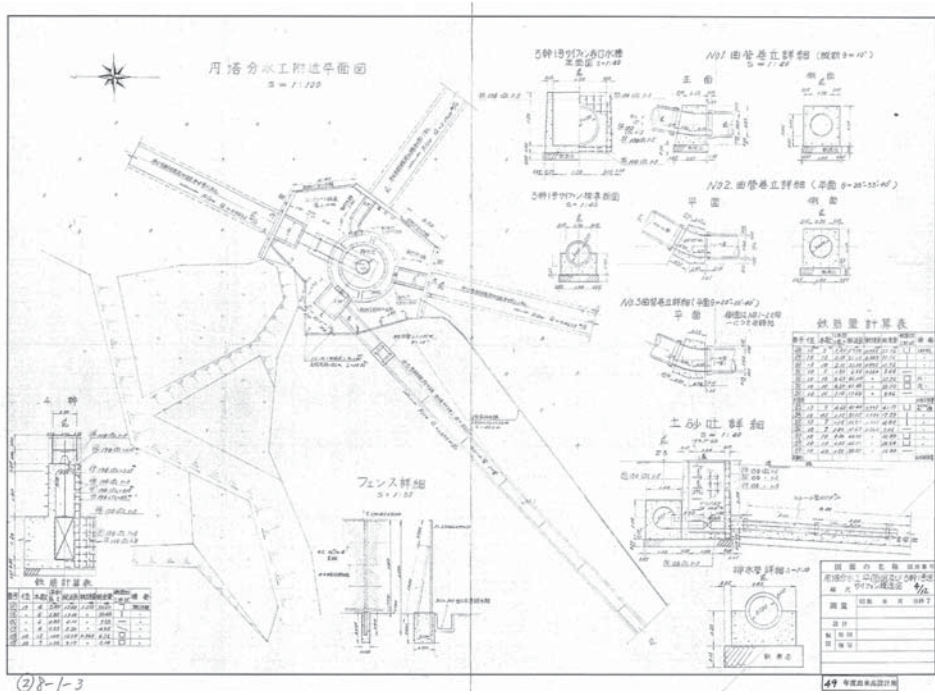


図3 滝の谷(やつ)分水工図

# 計 画 用 水 系 統 図

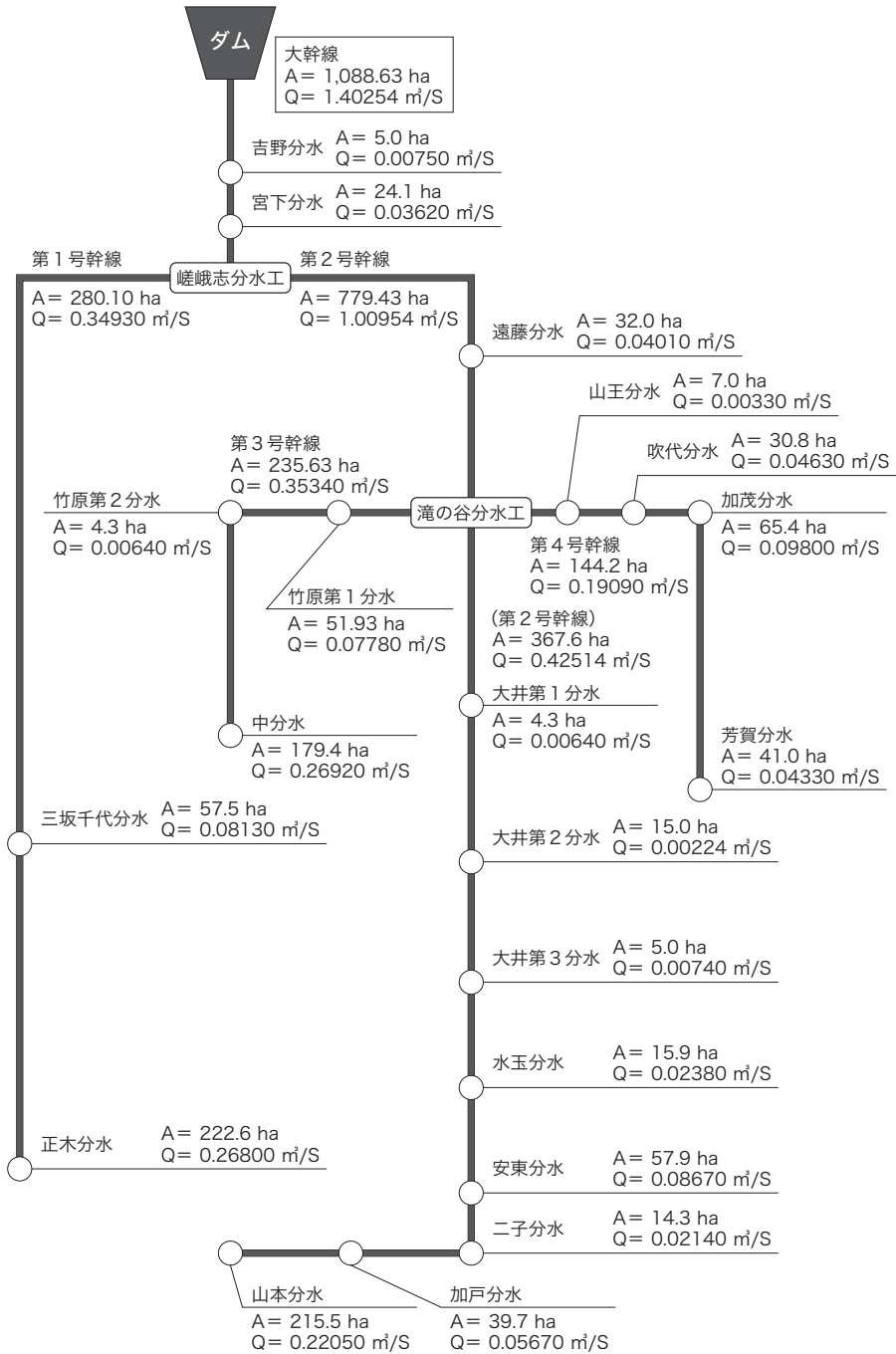


図 4

\* 『安房中央土地改良設立 50 周年記念誌—安房中央のあゆみ』平成 20 年 3 月、P40。一部改訂

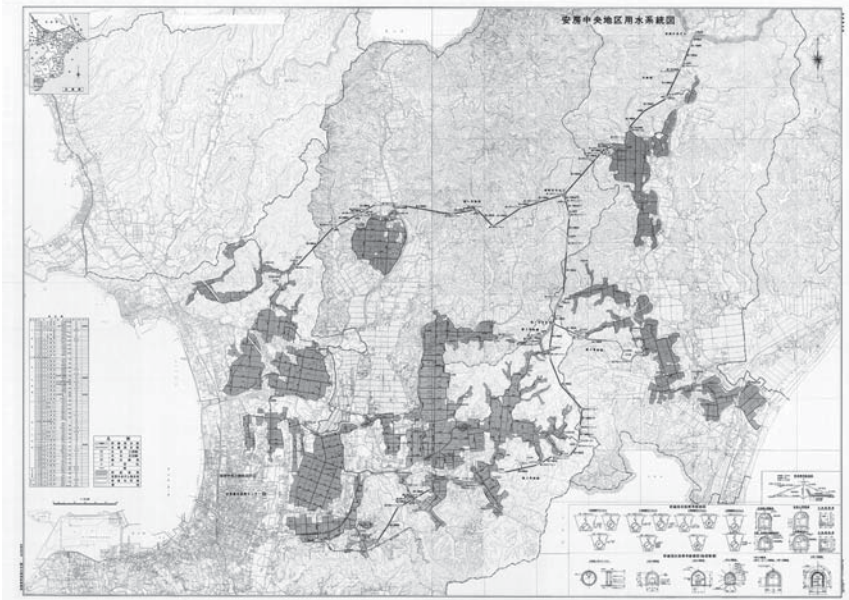


図5 安房中央地区用水系統図

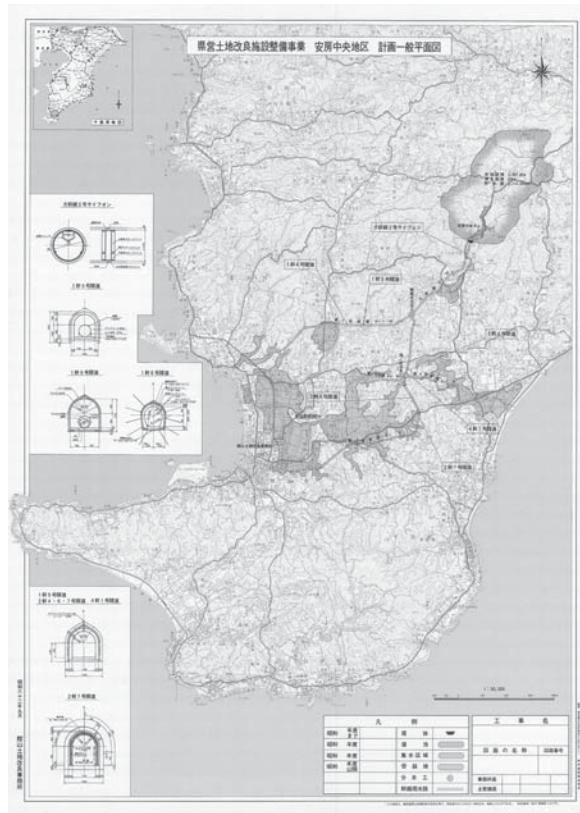


図6 県営土地改良施設整備事業 安房中央地区 計画一般平面図



図7 安房農業事務所土地改良完了地区図

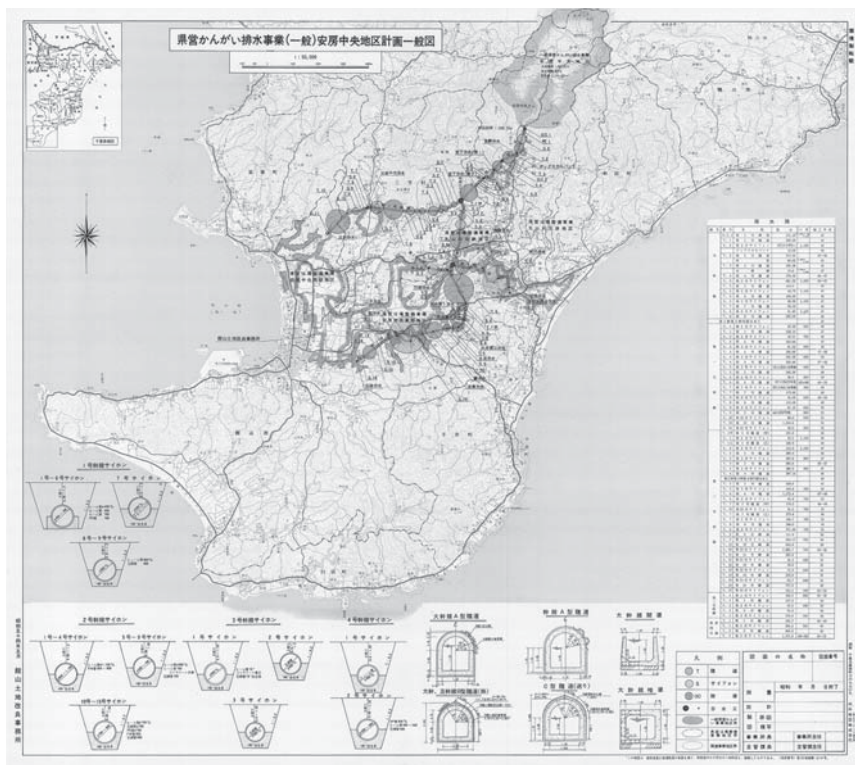


図8 県営かんがい排水事業（一般）安房中央計画一般図



## 4 終わりに

千葉県の円筒分水工は「千葉県内の円筒分水 (3)」中央学院大学社会システム研究所紀要第 18 巻第 1 号において終了としたが、その後、南房総の安房中央土地改良区管理の「嵯峨志分水工」と「滝の谷(やつ)分水工」の 2 つがあることが分かった。筆者が現在知る限りでは千葉県内に 15 の円筒分水工が存在する。

筆者は 2018 年 8 月 1 日に現地へ赴き調査をさせて頂いた。調査に先だって、千葉県安房農業事務所地域整備課主査の加藤貞之氏には安房地方の農業の現状などについて貴重なお話と資料を頂いた。中央土地改良区事務所を訪ね 2 つの円筒分水の概要を安房中央土地改良区の理事長山田一夫氏から親切丁寧にご説明いただき、事務局長の小橋純氏と主幹の中村友喜生氏には房総の暑さ厳しき折りの中を現地案内して頂いた。また、本稿作成に当たり貴重な資料や分水工図や安房中央土地改良区の関連図の提供を頂いた次第である。

以上の方々には、この場をお借りして謝意を申し上げます。

### [注]

- 1) 「千葉県内の円筒分水」中央学院大学社会システム研究所紀要第 17 巻第 1 号 2016 年 12 月 25 日、54 頁～ 81 頁。
- 2) 「千葉県内の円筒分水 (2)」中央学院大学社会システム研究所紀要第 17 巻第 2 号 2017 年 3 月 10 日、53 頁～ 82 頁。
- 3) 「千葉県内の円筒分水 (3)」中央学院大学社会システム研究所紀要第 18 巻第 1 号 2017 年 12 月 25 日、53 頁～ 61 頁。
- 4) <http://awatoti.sakura.ne.jp/gaiyou.html> アクセス 令和元年 9 月 30 日。

5) 『安房中央土地改良設立 50 周年記念誌—安房中央のあゆみ』平成 20 年 3 月、P31 参照。

6) 『前掲書』平成 20 年 3 月、P31 参照。

## The Cylindrical Diversion Systems in Chiba Prefecture (4)

Hiroshi Sato

Director, Institute of Social System Studies, Chuo Gakuin University, Director,  
Chuo Gakuin University, Faculty of Liberal Arts

### **Abstract**

In the former three issues of the Review, the cylindrical diversion system in Chiba prefecture were introduced as The Cylindrical Division Systems in Chiba, The Cylindrical Division Systems in Chiba Prefecture (2), and The Cylindrical Division Systems within Chiba Prefecture (3), respectively. This time, “Sagashi Turnouts” and “Takinoyatsu Turnouts” are introduced.

Both of the two turnouts, locating in south most of Chiba Prefecture, are under the control of Awa Central Land Improvement District. One is “Sagashi Cylindrical Division System” that was found quietly situated by the wayside after you go down a mountain path in the forest of the southern country. As for the other one, “Takinoyatsu Cylindrical Division System”, when you walk down about 100 meters along a mountain path covered with southern forest, you will find it beside a green paddy field, surrounded by a wire mesh.